

Title	図書館情報学部門村上研究室における基盤支援システム
Author	村上, 晴美
Citation	大阪市立大学学術情報総合センター紀要. Vol. 6, p.23-26.
Issue Date	2005-03
ISSN	1345-4145
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学学術情報総合センター
Description	

Placed on: 大阪市立大学学術機関リポジトリ

Placed on: Osaka City University Repository

図書館情報学部門村上研究室における基盤支援システム

村上 晴美[†]

大阪市立大学学術情報総合センター図書館情報学部門村上研究室における基盤支援研究の成果の一部として公開している基盤支援システムの概要を紹介する。基盤支援システムの Web ページを 2004 年 11 月 24 日より公開している。2005 年 1 月現在, (1) 大阪市大携帯 OPAC, (2) 大阪市大携帯 OPAC 多機能版(ベータ), (3) Subject World (ベータ) の 3 種類がある。

キーワード: 図書館情報学部門, 基盤支援, 携帯 OPAC, Subject World

Research Systems at Murakami Laboratory, Division of Library and Information Science

MURAKAMI Harumi[†]

1 はじめに

大阪市立大学学術情報総合センター図書館情報学部門村上研究室では、図書館機能の電子化に関わる基盤支援研究を行っている。

本稿では、基盤支援研究の成果の一部として公開している基盤支援システムの概要を紹介する。

2005 年 1 月現在、基盤支援システムとして、以下の 3 システムを公開している。

- (1) 大阪市大携帯 OPAC [1]
- (2) 大阪市大携帯 OPAC 多機能版 (ベータ) [2]
- (3) Subject World (ベータ) [3]

基盤支援システムの Web ページ[4]の公開は 2004 年 11 月 24 日であり、学術情報総合センターライブラリーサービス[5]よりリンクがはられている。

以下では、3 システムについて述べる。

2 大阪市大携帯 OPAC

大阪市大 OPAC の蔵書検索機能 (簡易検索 [6]) と、Amazon Web サービス[7]を用いた蔵書内容表示機能、配置画像表示機能を持つ、携帯電話用の OPAC である。PC から検索可能である。

誰でも簡単に使えるよう、安定性と使いやすさを重視し、一般の利用者が最もよく使う簡易検索 (キーワード検索) に機能を限定している。

2.1 システム構成

システムは大阪市立大学 OPAC 簡易検索と、Amazon Web サービスへのインタフェースとして実装しており、基本的にはこれらのシステムのコマンドを利用している。図 1 にシステム構成を示す。

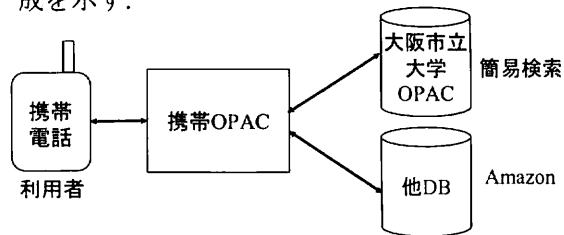


図 1: システム構成

2.2 機能概要

主な機能は以下の 3 種類である。

(1) キーワード検索: トップ画面からキーワード入力により、書誌一覧画面に検索結果一覧を表示する。検索結果一覧から選択することにより、該当資料の所在一覧・書誌情報を表示する。絞込み検索機能、図書・雑誌の選択機能がある。キーワード入力時に検索結果がヒットしなかった場合に、キーワードを形態素解析により分割して AND 検索を行う機能を付加している。

(2) 蔵書内容表示: 所在一覧・書誌情報画面から「Amazon.co.jp の情報を表示」を選択すると、選択した資料の ISBN 番号で Amazon Web サービスを検索し、蔵書レビューを中心とする内容情報を表示する。

(3) 配置画像表示: 所在一覧・書誌情報画面から配置場所を選択すると、資料が学術情報総

[†] 大阪市立大学大学院創造都市研究科 兼 学術情報総合センター

Graduate School for Creative Cities and Media Center, Osaka City University

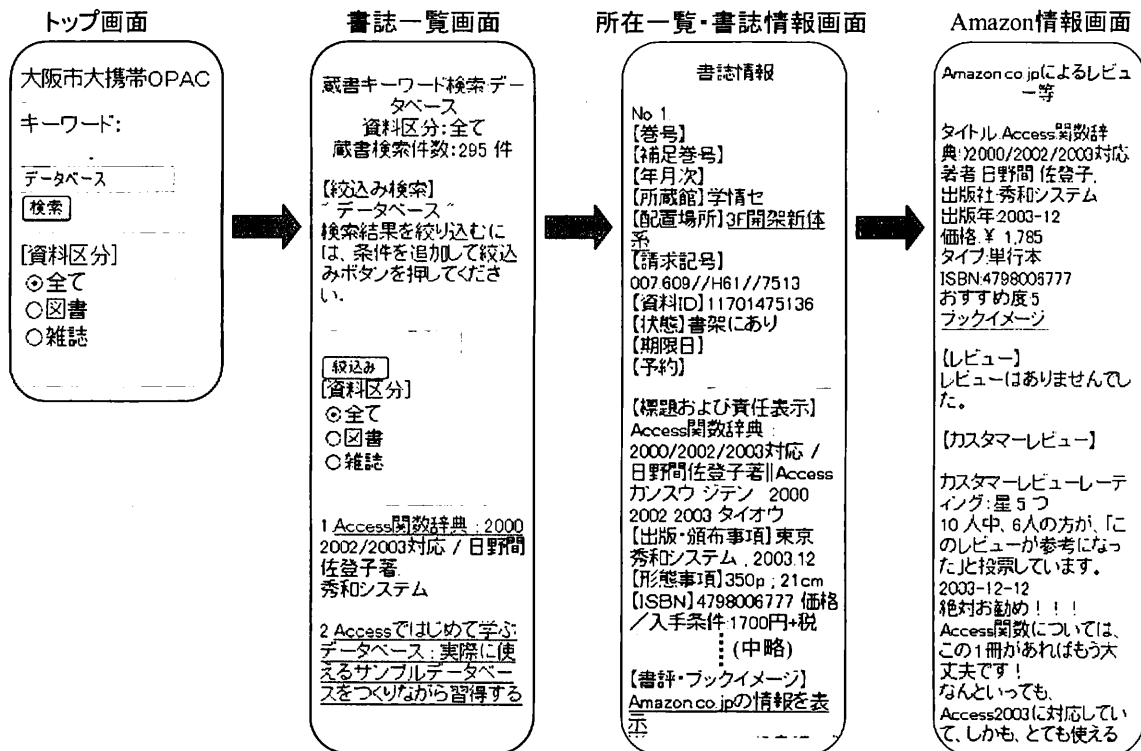


図 2：大阪市大携帯 OPAC 画面例

合センターにある場合には、各階のフロアガイドの地図画像を表示する。

2.3 画面例

図 2 は主な画面例である。トップ画面からキーワードを入力して「検索」ボタンを押すと、OPAC の簡易検索を行い、書誌一覧画面を表示する。利用者が資料を選択すると、OPAC に接続して所在一覧・書誌情報画面を表示する。配置場所を選択すると配置画像が表示されるが、この際、資料が学術情報総合センター3 階開架体系と7階新体系にある場合には、画像の上に、NDC 番号を利用して丸印を表示する（図 3 参照）。「Amazon.co.jp の情報を表示」を選択すると、Amazon の内容情報が表示される。

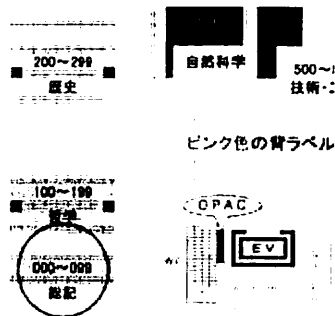


図 3：配置画像の例

3 大阪市大携帯 OPAC 多機能版

2 節で述べた大阪市大携帯 OPAC に加えて、件名(BSH4)と分類(NDC9)を用いた蔵書検索機能を持つ携帯電話用の OPAC である。PC からも検索可能である。

利用者のキーワード入力、ブラウジングの参考になるよう、蔵書と一緒に、件名と分類の検索結果を表示する点が特徴である。詳細は[8, 9]を参照されたい。

3.1 システム構成

システム構成は基本的に大阪市立大学携帯 OPAC と同じであり、相違点は、BSH4 と NDC9 のデータを付加していることと、件名や分類による検索のときには大阪市立大学 OPAC 詳細検索（件名検索、NDC 検索）を利用していることである。

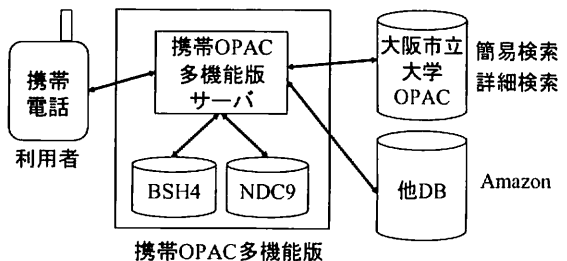


図 4：システム構成

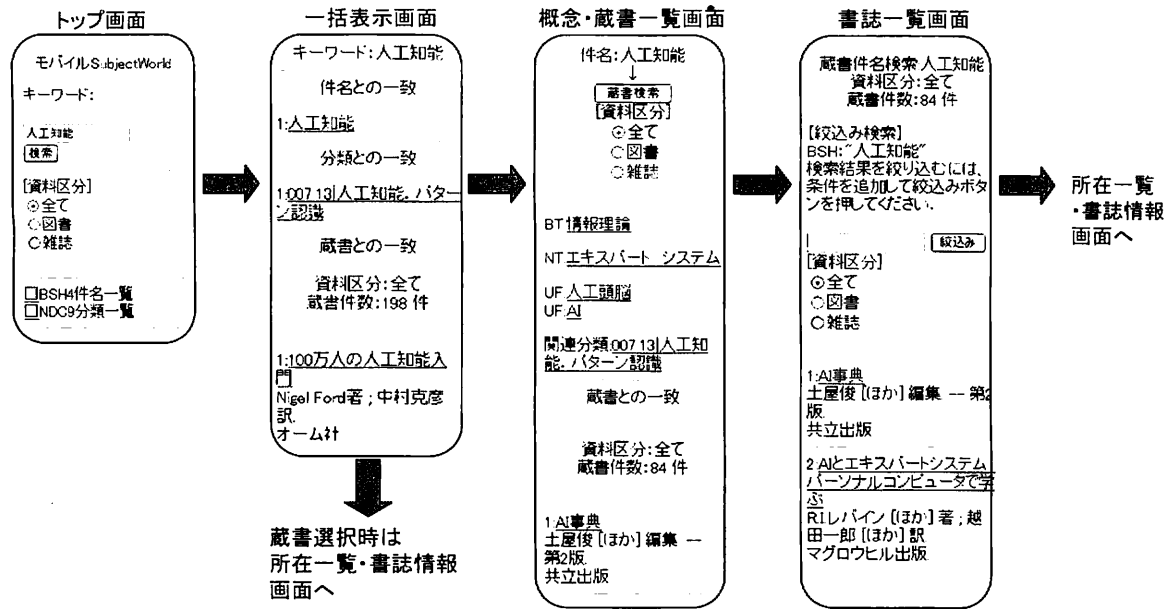


図 5：大阪市大携帯 OPAC 多機能版画面例

3.2 機能概要

大阪市立大学 OPAC と異なる主な機能は以下の 3 種類である。

- (1) キーワード検索：トップ画面からキーワード入力により、一括表示画面を表示する。ここでは、検索でヒットした、件名と分類の検索結果と、蔵書の検索結果が表示される。件名あるいは分類を選択した場合には、関連する件名や分類を検索、表示すると同時に、選択した件名や分類で蔵書検索した結果を表示する。蔵書を選択した場合には、所蔵一覧・書誌情報画面を表示する。
- (2) BSH4 件名一覧検索：BSH4 件名を一覧表示し、選択した件名で蔵書検索を行う。
- (3) NDC9 分類一覧検索：NDC9 分類項目を一覧表示し、選択した分類で蔵書検索を行う。

3.3 画面例

図 5 はキーワード検索の画面遷移の例である。トップ画面からキーワードを入力して検索すると、BSH4 データ、NDC9 データ、OPAC (簡易検索) を検索して、キーワードを含む件名 3 件、分類 3 件、蔵書 10 件が一括表示画面に表示される。「more」を選択すると、表示された件数以上の一覧が表示される。件名あるいは分類を選択した場合は、関連する BSH4 件名や NDC9 分類と、選択された件名あるいは分類で OPAC 詳細検索 (件名検索と NDC 検索) を行った結果を概念・蔵書一覧画面に表示する。概念・蔵書一覧画面で「蔵書検索」を選択すると、OPAC に接続し、所在一覧・書誌情報画面が表示される。一括表示画面において蔵書を選択した場合は、OPAC に接続して、所在一覧・書誌情報画面を表示する。

所在一覧・書誌情報画面、Amazon 情報画面、配置画像は、大阪市立大学携帯 OPAC とほとんど同じである。

4 Subject World

件名(BSH4)と分類(NDC9)を用いた蔵書検索機能、Amazon Web サービスを用いた書籍検索機能、Google Web API[10]を用いた Web 検索機能を持つ、PC用の OPAC 視覚化システムである。主な特徴は異なる概念体系の概念の視覚的ブラウジングと統合である。

4.1 システム構成

システム構成は大阪市立大学携帯 OPAC 多機能版と類似しているが、言語や環境などの実装や Google 検索を行うところが異なっている。

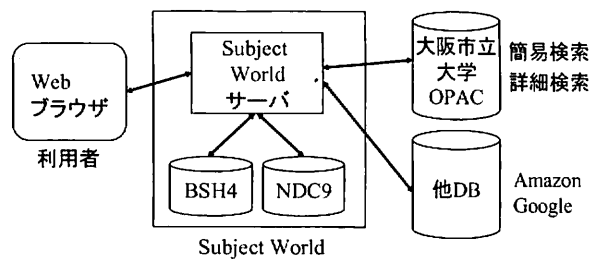


図 6：Subject World システム構成

4.2 機能概要

Subject World は、検索系の機能と、操作系の機能に大別される。

検索系の機能は、概念を検索する概念検索と、外部情報 (データベース) を検索する外部情報検索に大別される。概念検索では、選択した概

念あるいは外部情報に関連する概念（件名標目やNDC9分類項目）の検索ができる。外部情報検索では、選択した概念あるいは外部情報に関連する外部情報（大阪市立大学 OPAC や Amazon 和書や Web ページ）検索ができる。

操作系の機能としては、オブジェクトの入力、消去、移動、ピンどめ、整列機能などがある。

機能の詳細は[11]などを参照されたい。

4.3 画面例

図7は、Subject World の画面例である。「人工知能」というキーワード入力をきっかけとして関連する件名標目や、OPAC で検索された蔵書アイコンなどがメインウインドウ内に視覚的に表示され、OPAC の検索結果一覧や書誌情報が別ウインドウに表示されている様子を示している（この例の詳細は文献[11]参照）。

5 おわりに

本稿では、図書館情報学部村上研究室で公開している基盤支援システムについて述べた。システムを改善するために、利用者からのフィードバックを望んでいる。

謝辞

今回紹介したシステムは平田高志氏（防衛庁）、上田洋氏（大阪市立大学大学院創造都市研究科）との共同開発である。基盤支援ページの公開に関しては、大阪市立大学学術情報総合センター図書情報課の平方善雄氏と伊賀由紀子氏にお世話になった。ここに記して感謝したい。

参考文献

- [1] 大阪市立大学携帯 OPAC
<http://kuroyuri.media.osaka-cu.ac.jp/i/>
- [2] 大阪市立大学携帯 OPAC 多機能版
<http://160.193.95.74/examples/servlet/mSubjectWorldHttpPlus2b>
- [3] Subject World
<http://www.media.osaka-cu.ac.jp/~harumi/research/SubjectWorld/>
- [4] 大阪市立大学学術情報総合センター図書館情報学部村上研究室基盤支援システム
<http://www.media.osaka-cu.ac.jp/~harumi/research/kiban.shtml>
- [5] 大阪市立大学学術情報総合センターライブラリーサービス
<http://libser.media.osaka-cu.ac.jp/>
- [6] 大阪市立大学 OPAC 書誌検索（簡易検索）
<http://libser.media.osaka-cu.ac.jp/index2.html>
- [7] Amazon Web サービス
<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/subst/associates/join/webservices.html/250-7335408-9598630>
- [8] 上田 洋, 村上 晴美, 関連語提示機能付携帯 OPAC の試作, 人文科学とコンピュータシンポジウム論文集, pp.189-194, 2004.
- [9] 上田 洋, 携帯 OPAC の高度化に関する研究, 大阪市立大学大学院創造都市研究科修士論文, 2005 (予定) .
- [10] Google Web APIs
<http://www.google.com/apis/>
- [11] 村上 晴美, 平田 高志, 上田 洋, Subject World - 主題の世界 -, 情報の科学と技術, Vol.54, No.11, pp.568-574, 2004.

The screenshot displays the Subject World interface. At the top, there is a search bar with the text '検索範囲 1 - 50 件'. Below this is a table of search results with columns for '表題', '責任表示', and '出版情報'. The main area features a network diagram with nodes representing concepts like '情報科学', '人工知能', 'データベース', and '情報処理', connected by arrows. A 'Java Applet Window' is visible, showing a detailed view of a book. The book details include the title '認知科学の発展的発展: 認知科学の発展的発展', author '野家伸也, 佐藤英明', and publisher '産業図書'. The ISBN is 4782801025 and the price is 4300円.